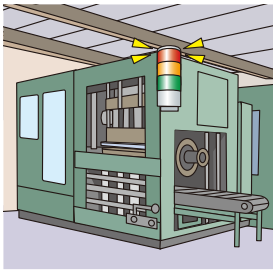


鑄造装置エラー時間の「見える化」により不良品数の特定!

Before

鑄造装置



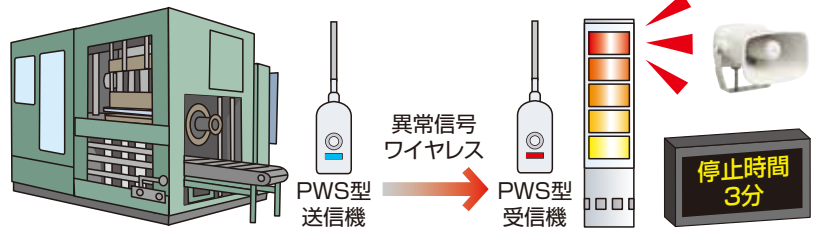
課題

エラー発生で停止した時間により、機内温度が低下し不良品発生要因となる。停止時間が現場で把握できず、不良品の個数が確認できない。

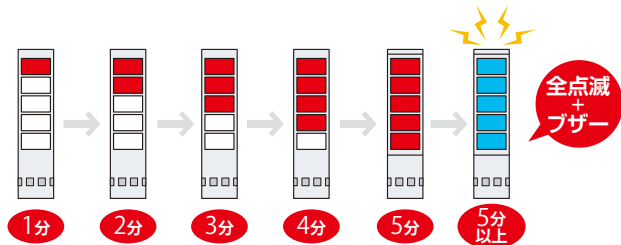
After

導入効果

- 異常発生を受け、LA6で停止時間をタイマー表示。
- 1分ごとに、1→2→3→4→5段と赤色のタイマーを増段点灯。
- ワイヤレスコントロールユニットPWS型と組み合わせることで、死角に設置された機械の状態も確認可能。
- 光表示以外に、文字、音声による表示も可能。



〈表示イメージ〉



改善テーマ『停止時間により、不良品数の可視化をさせたい』

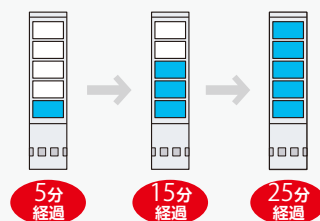
現状

- 異常停止を確認した装置は、担当者が時間を測り、不良品個数を特定している。
- 停止時間が現場で把握できず、不良品の個数が確認できない。

改善提案『積層情報表示灯「LA6型」でのご提案』

ご提案

- タイマー表示機能で異常発生から1分毎に表示が増えることで、停止時間を遠方からでも表示段数で確認ができる。
- 配線は従来の信号灯+1本の配線追加だけとかんたん接続。
- 表示時間や表示色(21色)、パターン(15)を編集ソフトで変更が可能。



無料の編集ソフトでかんたん設定

